

理想郷

作詞作曲 清水信吉

編 曲 maru

「3 章 テーマ曲」

3. 理想郷

—本当の強さとは何—

この曲は、かつて戦争をテーマにした舞台へ楽曲提供したときに生まれた作品です。

“戦争”という言葉は遠い世界の話のように感じがちですが、日常の喧嘩や人間関係の争いにも、実は同じ“正義のぶつかり合い”があります。

「弱さを見せたら負ける」

「強くなければ生き残れない」

「本当の気持ちは隠さなければならない」

そんな間違った“強さ”への執着が、心と心の間に壁をつくり、やがては争いの火種となっていきます。

戦争がどの時代も“平和の主張”でミサイルを飛ばしているように僕たちもまた“正義”や“愛”という名を借りて、誰かを攻撃してしまうことがあるのではないのでしょうか？

あなたの放つ言葉や態度が、知らず知らずのうちに“誰かへのミサイル”になっていないか。

この曲には、そんな問いかけを込めています。

今回、この歌は、きよちゃんの三女・桔梗に歌ってもらいました。

彼女自身、過去に壮絶ないじめを経験しました。

その苦しみの中で、彼女はますます「弱さを見せたら負け」と、ずっと強がり、結果、人との距離を遠ざけていた時期がありました。

そんな彼女が 16 歳の時、「天命開花のワーク」に出会い、本当の“弱さ”を受け入れることの強さと大切さを知ったのです。

そして現在 18 歳、彼女は自分の魂と向き合い、自分の言葉で、夢を語り、輝きながら仕事をし、“女優”という新たな道を自ら選び歩んでいます。

この曲は、そんな彼女の魂の再生にぴったりの歌詞です。

強く生きること 勘違いしてる

私の心は誰よりも儚い

言葉の刃が心に突き刺さった

赤い血 青い血 矛盾が溢れてくる

美しい景色さえも 見逃していく

強く生きること 勘違いしてる

私の心は 誰よりも儚い

言葉の扉も 見栄の城壁も

崩した先には あなたがいるのに

瞳も鼓膜も唇も奪われた

それでも心が呼吸を続けたがる

息苦しい世界と分かっている

言葉にならない想いが溢れる

嘘がつけないと 生きていけはしないの

愛を感じてる 愛を感じてる

言葉にしなくても あなたを感じれる

理想は希望を侵食してく

平和色したミサイルで

壊れた世界で夢を見ている

遥か昔の争いの無い世界を

強く生きること 勘違いしてる

私の心は誰よりも儚い

愛を感じれる 愛を感じれる

言葉にしなくても あなたを感じてる

